

平素は弊社製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
2014年4月1日からの消費税率変更にともない、ご利用いただいております
電子レジスターの消費税率変更対応方法についてご案内いたします。

対象機種：QT-6000

※データの整合を取る為、設定変更は必ず精算後に行ってください。

目次

1. 全ての商品を外税扱いにする	1
2. 部門への単価設定手順	18
3. スキャニングPLUへの単価設定手順	22
4. PLUへの単価設定手順	28
5. 領収書の収入印紙必要額設定手順	32
6. 税率変更手順	37

■製品の機能、操作、修理に関するお問合せ先
《カシオレジスターお客様相談センター》

 **0570-001166**

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合は、
048-233-7215へお掛けください。

市内通話料金のみでご利用いただけます

受付時間 月曜日～土曜日AM9:00～PM5:30(日・祝日・弊社指定休業日は除く)

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

2014年4月11日発行 L

全ての商品を外税扱いに設定する

全ての商品を外税扱いに設定するには、〈部門〉、〈PLU〉、〈値引〉、〈割引〉の各キーを外税に設定します。この手順についてご案内致します。また、奉仕料の課税方式を外税にする手順についてもご案内致します。

税率テーブルは4本のテーブルがあり、初期状態での各テーブルの設定は以下の通りです

No.	税テーブル	税タイプ	税率
1	税テーブル # 1	内税	5%
2	税テーブル # 2	外税	5%
3	税テーブル # 3	設定無し	0%
4	税テーブル # 4	設定無し	0%

〈部門〉、〈PLU〉 〈値引〉、〈割引〉の各キーを外税に設定するには、税テーブル #2 (消費税 2) を各キーにリンクさせます。

《操作手順》

〈部門〉 キーを外税に設定する

例として 〈部門 001〉 ~ 〈部門 020〉 までを使用しており、全ての 〈部門〉 キーを外税に設定する場合の手順をご案内致します。なお、キーの配置は初期状態としてご案内致します。

- ① トップメニューで 〈設定〉 キーをタッチします。



- ② 設定権限のある担当者でサインインします。
(例として 担当者-A でサインインします)

担当No.を入力して「検索」してください

担当No.

氏名

暗証番号

7 8 9
4 5 6
1 2 3
0 00 C

検索

確定

前ページ 次ページ 1/3

担当-A	担当-B	担当-C	担当-D	担当-E	担当-F
担当-G	担当-H	担当-I	担当-J	担当-K	担当-L
担当-M	担当-N	担当-O	担当-P	担当-Q	担当-R

キャンセル

- ③ <設定 3> キーをタッチします。

2014年 1月 1日(水) 21:24 000004 レジ発行 担当 担当-A [未認証]

設定

設定1 (商品単価、領収書、税、他)

設定2 (商品名、ソフトメニュー、他)

設定3 (商品、担当者、レジ機能)

設定4 (タッチキー)

設定5 (メモリー配分)

設定6 (各種設定レポート)

オーダーエントリーシステムの設定更新

キャンセル

- ④ 「1. 商品設定」をタッチします。

2014年 1月 5日(日) 20:44 000002 レジ発行 担当 担当-A [未認証]

P03

タブ1 タブ2 タブ3 タブ4 タブ5

0	PLU0010	PLU0020	PLU0030	PLU0040	PLU0050
前	PLU0009	PLU0019	PLU0029	PLU0039	PLU0049
▲	PLU0008	PLU0018	PLU0028	PLU0038	PLU0048
▼	PLU0007	PLU0017	PLU0027	PLU0037	PLU0047
次	PLU0006	PLU0016	PLU0026	PLU0036	PLU0046
No.指定	PLU0005	PLU0015	PLU0025	PLU0035	PLU0045
強制解除	C	X/日時	訂正中止	伝票呼出	面切替
領収書	7	8	9	#/替	[締め]
戻	4	5	6	[取替]	[部門]
モード切替	1	2	3	小計	
メニュー	0	00	.	規/預	

キャンセル

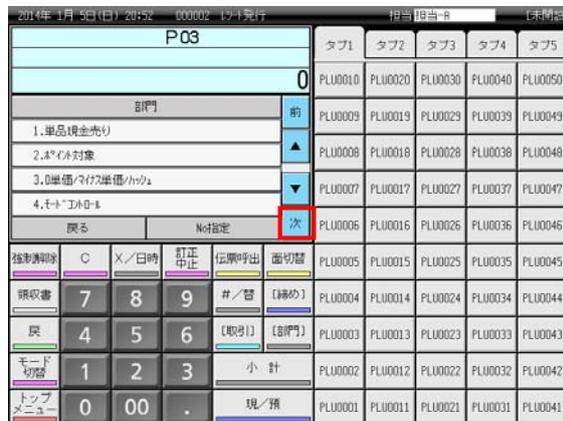
⑤ 「2. レンジ設定」をタッチします。



⑥ 「2. 部門」をタッチします。



⑦ 右図の通りの表示となります。<次> をタッチして、左上の表示を下へスクロールします。



- ⑧ 「5. 消費税の課税方式」をタッチします。



- ⑨ 右図の通りの表示となります。
「消費税の課税方式」データ表示部を
タッチし、“消費税 2”を選択します。

「消費税の課税方式」データ表示部は、
タッチするごとに、“消費税 1” ~
“消費税 4”、“および”非課税“ の表示が
繰り返し表示されます。

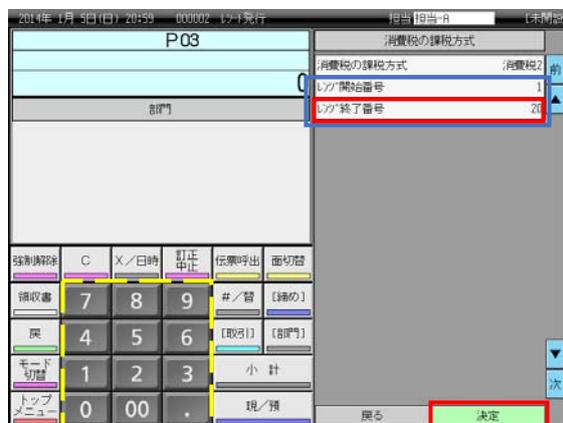


- ⑩ テンキー(黄色の破線部)で
<2> <0> とタッチし、「レンジ終了
番号」データ表示部をタッチします。

レンジ開始番号とレンジ終了番号、各々
以下の通り表示されていることを確認し、
<決定> キーをタッチします。

レンジ開始番号:1

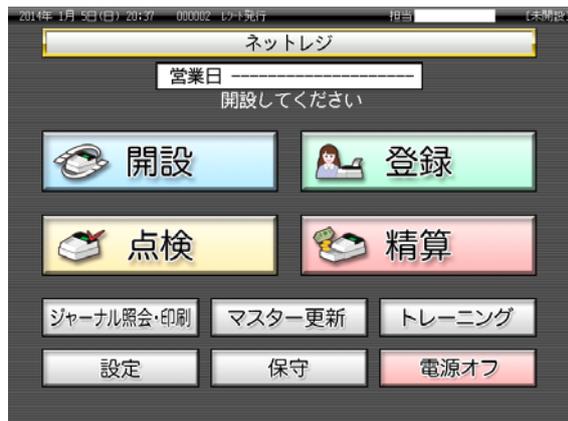
レンジ終了番号:20



- ⑪ 右図の通りの表示となります。
 <トップメニュー> キーをタッチします。



- ⑫ トップメニューに戻ります。



<PLU> キーを外税に設定する

例として <PLU 001> ~ <PLU 250> までを使用しており、全ての <PLU> キーを外税に設定する場合の手順をご案内致します。なお、キーの配置は初期状態としてご案内致します。

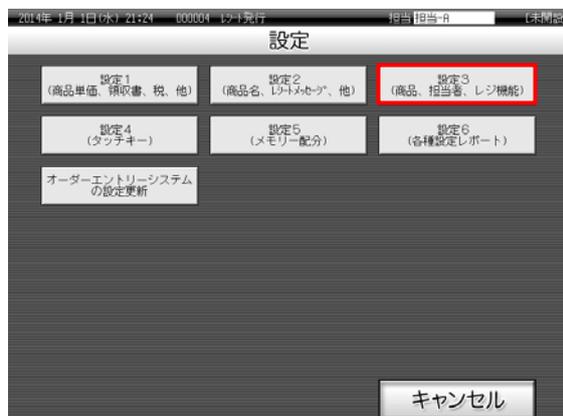
- ① トップメニューで <設定> キーをタッチします。



- ② 設定権限のある担当者でサインインします。
(例として 担当者-A でサインインします)



- ③ <設定 3> キーをタッチします。



④ 「1. 商品設定」をタッチします。



⑤ 「2. レンジ設定」をタッチします。



⑥ 「1. PLU」をタッチします。



- ⑩ テンキー(黄色の破線部)で
 <2> <5> <0> とタッチし、
 「レンジ終了 番号」データ表示部を
 タッチします。

レンジ開始番号とレンジ終了番号、各々
 以下の通り表示されていることを確認し、
 <決定> キーをタッチします。

レンジ開始番号:1

レンジ終了番号:250



- ⑪ 右図の通りの表示となります。
 <トップメニュー> キーをタッチします。



- ⑫ トップメニューに戻ります。



← ←%← キーを外税に設定する

設定する手順をご案内致します。なお、キーの配置は初期状態としてご案内致します。

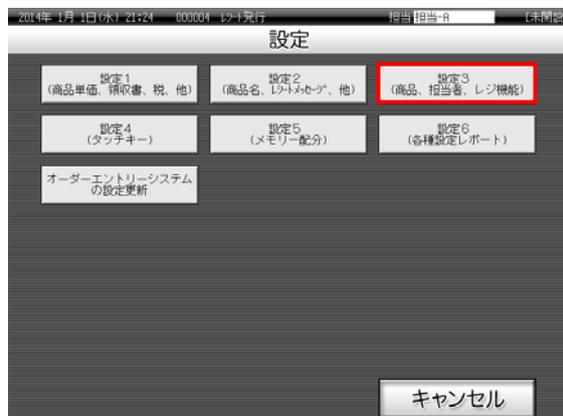
- ① トップメニューで <設定> キーをタッチします。



- ② 設定権限のある担当でサインインします。
(例として 担当者-A でサインインします)



- ③ <設定 3> キーをタッチします。



④ 「3. 各キーへの設定」をタッチします。



⑤ 「1. 取引キー」をタッチします。



⑥ 設定する取引キーの選択画面になります。<[取引]> キーをタッチします。



- ⑦ <値引> キーをタッチします。



- ⑧ 右図の通りの表示となります。
「消費税の課税方式」データ表示部をタッチし、“消費税 2”を選択します。



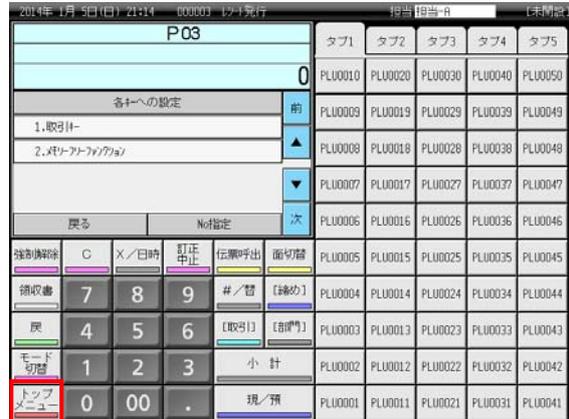
「消費税の課税方式」データ表示部は、タッチするごとに、“消費税 1” ~ “消費税 4”、及び “全て”、“非課税”、の表示が繰り返し表示されます。

設定が終了したら、<決定> キーをタッチします。

- ⑨ 右図の通りの表示となります。
<終了> キーをタッチします。



- ⑩ <トップメニュー> キーをタッチします。



- ⑪ トップメニューに戻ります。



<割引> キーへの外税設定

手順⑦で <割引> キーをタッチします。その他の手順は同じです。

<%+>、<+> キーをご使用の場合の外税設定

初期状態では、<%+>、<+> キーは作成されていません。作成されている場合は、これらのキーにつきましても、外税へ設定する必要があります。

手順⑦で <%+>、<+> キーをタッチしてください。その他の手順は同じです。

奉仕料の課税方式を外税に設定する

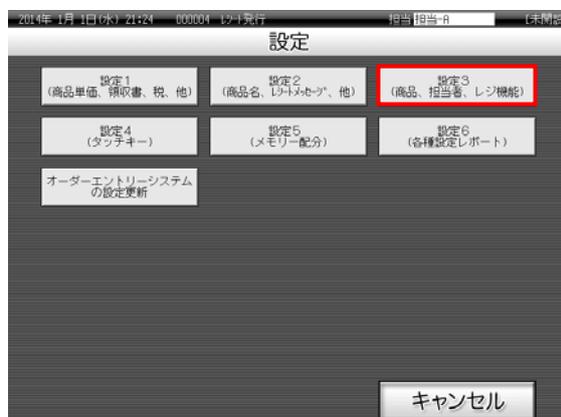
- ① トップメニューで <設定> キーをタッチします。



- ② 設定権限のある担当でサインインします。
(例として 担当者-A でサインインします)



- ③ <設定 3> キーをタッチします。



④ 「4. レジ機能の設定」をタッチします。



⑤ 「1. 全体設定」をタッチします。



⑥ 「7. (722)奉仕料計算」をタッチします。



- ⑦ 右図の通りの表示となります。
「奉仕料の課税方式」部をタッチし、「消費税 2」を選択します。

「奉仕料の課税方式」部は、
タッチするごとに、「消費税 1」～
「消費税 4」、及び「非課税」、の表示が
繰り返し表示されます。

設定が終了したら、〈決定〉 キーを
タッチします。



- ⑧ 右図の通りの表示となります。
〈戻る〉 キーをタッチします。



- ⑨ 〈トップメニュー〉 キーをタッチします。



⑩ トップメニューに戻ります。

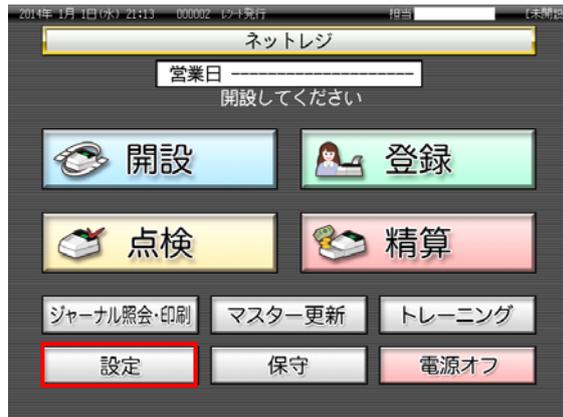


部門への単価設定手順

(例) 部門1に単価500円に設定します。

タッチする部分を赤い囲みで、確認する部分を青い囲みで記載します。

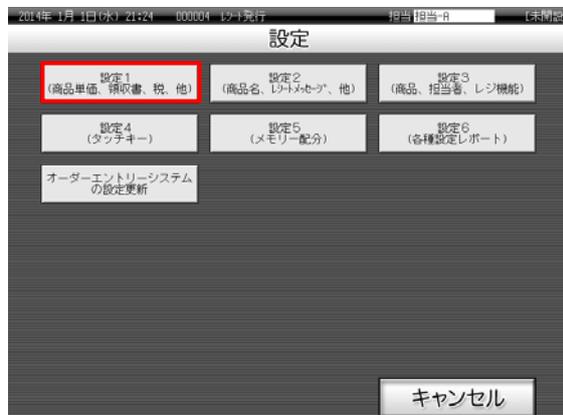
- ① トップメニューで <設定> キーをタッチします。



- ② 設定権限のある担当でサインインします。
(例として 担当者-A でサインインします)



- ③ <設定 1> キーをタッチします。



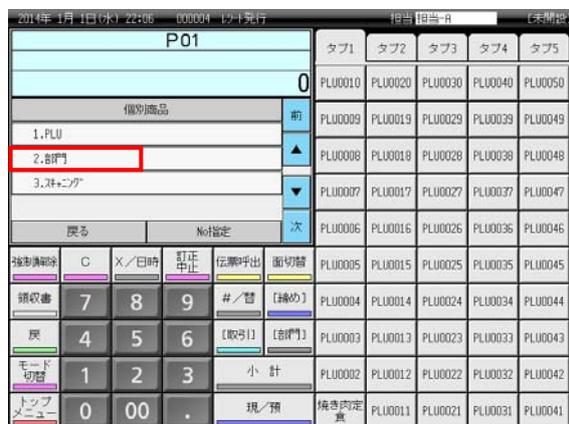
- ④ 「1. 商品単価」をタッチします。



- ⑤ 「1. 個別商品」をタッチします。



- ⑥ 「2. 部門」をタッチします。



- ⑦ 右図の通り部門に設定されている単価データの一覧が表示されます。テンキー（黄色破線の囲み部）で
 <5> <0> <0> と設定する単価をタッチし、該当の部門の単価データ表示部をタッチします。

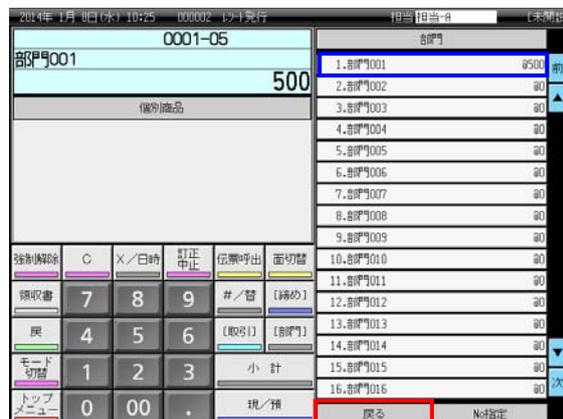


- ⑧ 該当部門の単価データ表示部に@500と表示されていることを確認します。

その他の部門単価を設定する場合は

- ⑦ の操作を繰り返します。

終了する場合は <戻る> キーをタッチします。



- ⑨ 右図の通りの表示となります。
 <トップメニュー> キーをタッチします。



⑩ トップメニューに戻ります。

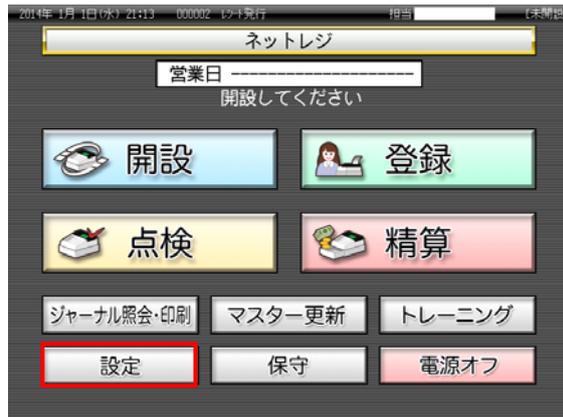


スキャンング PLU への単価設定手順

(例) コーラの単価を300円に設定します。

タッチする部分を赤い囲みで、確認する部分を青い囲みで記載します。

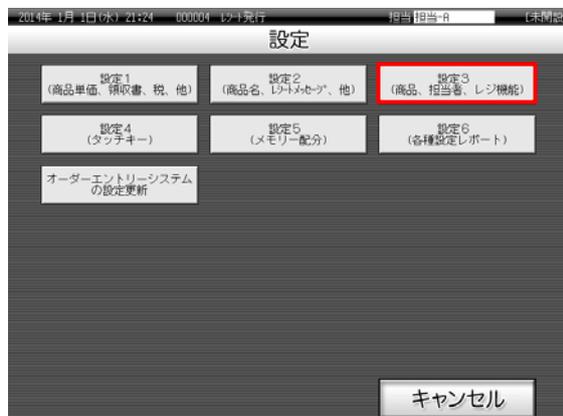
- ① トップメニューで <設定> キーをタッチします。



- ② 設定権限のある担当でサインインします。
(例として 担当者-A でサインインします)



- ③ <設定 3> キーをタッチします。



④ 「1. 商品設定」をタッチします。



⑤ 「1. 一括設定」をタッチします。



⑥ 「3. スキャンング」をタッチします。



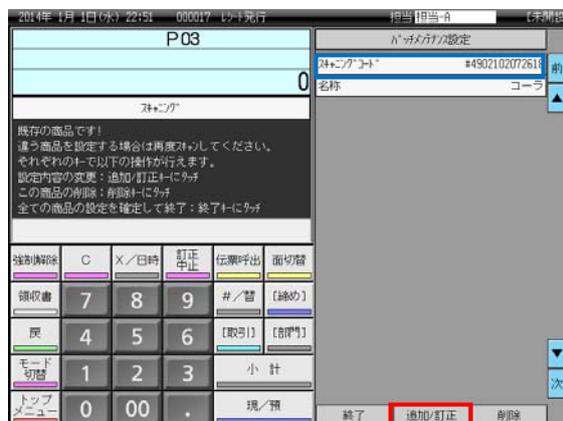
- ⑦ 「1. バッチメンテナンス設定」をタッチします。



- ⑧ 右図の通りバッチメンテナンスの設定画面となります。コーラのバーコードをスキャンします。



- ⑨ スキャニングコードのところにスキャンしたコーラのバーコードが表示されていることを確認します。続けて <追加/訂正> をタッチします。



- ⑩ 右図の通りコーラの設定詳細が表示されます。テンキー(黄色破線の囲み部)で <3> <0> <0> と設定する単価をタッチし、単価データの入力部をタッチします。

強制解除	C	X/日時	訂正中止	伝票呼出	面切替
領収書	7	8	9	#/替	[締め]
戻	4	5	6	[取引]	[部門]
モード切替	1	2	3	小計	
トップメニュー	0	00	.	現/預	

- ⑪ 単価データの入力部に @300 と表示されていることを確認し <決定> をタッチします。

強制解除	C	X/日時	訂正中止	伝票呼出	面切替
領収書	7	8	9	#/替	[締め]
戻	4	5	6	[取引]	[部門]
モード切替	1	2	3	小計	
トップメニュー	0	00	.	現/預	

- ⑫ 左上の表示部に商品名である“コーラ”が表示されていることを確認します。

その他の商品単価を設定する場合は

- ⑧ ~ ⑪ の操作を繰り返します。

終了する場合は <終了> をタッチします。

強制解除	C	X/日時	訂正中止	伝票呼出	面切替
領収書	7	8	9	#/替	[締め]
戻	4	5	6	[取引]	[部門]
モード切替	1	2	3	小計	
トップメニュー	0	00	.	現/預	

- ⑬ 右図の通りの表示となります。
「3. バッチメンテ起動」をタッチします。



- ⑭ <はい> をタッチしバッチメンテ起動を実施します。



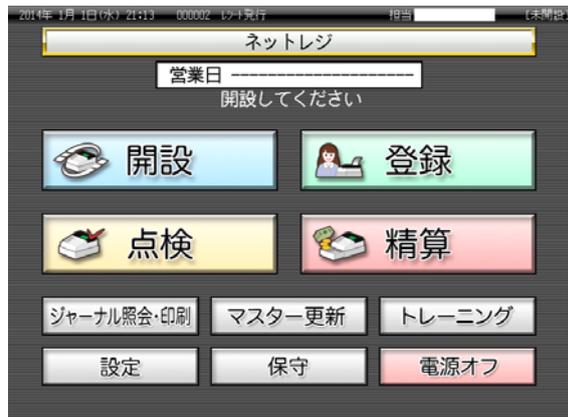
- ⑮ “バッチメンテナンス起動 正常終了” と表示されていることを確認します。
<戻る> をタッチします。



- ⑩ 右図の通りの画面となります。
 <トップメニュー> キーをタッチします。



- ⑪ トップメニューに戻ります。

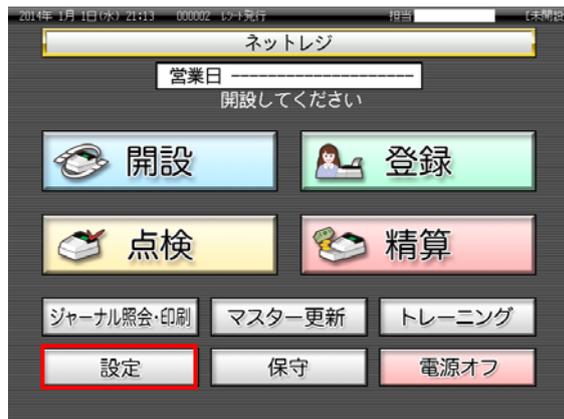


PLU への単価設定手順

(例) 焼き肉定食の単価を650円に設定します。

タッチする部分を赤い囲みで、確認する部分を青い囲みで記載します。

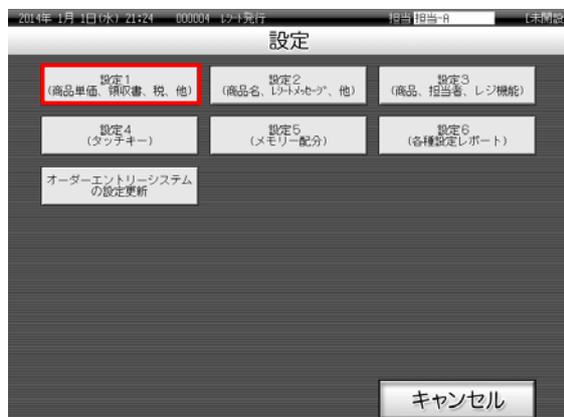
- ① トップメニューで <設定> キーをタッチします。



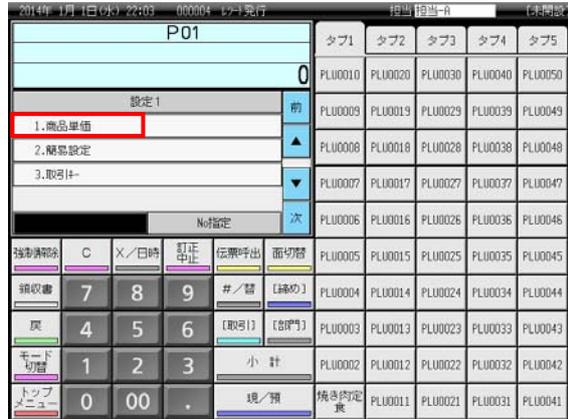
- ② 設定権限のある担当でサインインします。
(例として 担当者-A でサインインします)



- ③ <設定 1> キーをタッチします。



④ 「1. 商品単価」をタッチします。



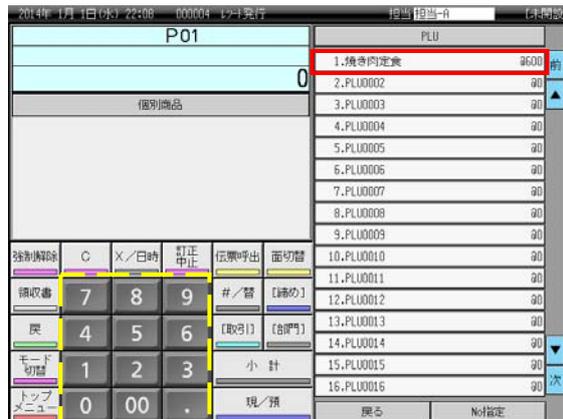
⑤ 「1. 個別商品」をタッチします。



⑥ 「1. PLU」をタッチします。



- ⑦ 右図の通り PLU に設定されている単価データの一覧が表示されます。テンキー（黄色破線の囲み部）で
 <6> <5> <0> と設定する単価をタッチし、該当のPLUの単価データ表示部をタッチします。

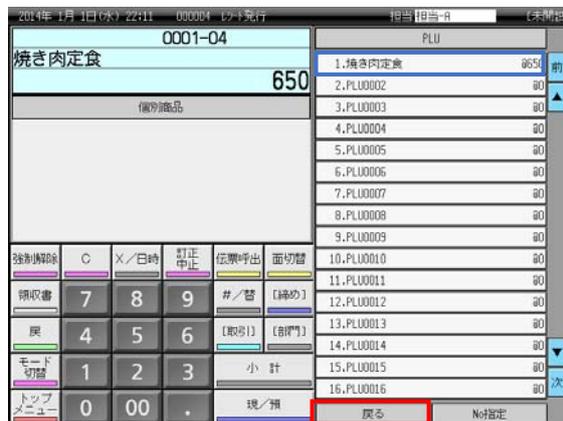


- ⑧ 該当 PLU の単価データ表示部に @650 と表示されていることを確認します。

その他の商品単価を設定する場合は

- ⑦ の操作を繰り返します。

終了する場合は <戻る> キーをタッチします。



- ⑨ 右図の通りの表示となります。
 <トップメニュー> キーをタッチします。



⑩ トップメニューに戻ります。



領収書の収入印紙必要額設定手順

領収書の収入印紙必要額を、30,000円 → 50,000円 に変更する手順をご案内致します。タッチする部分を赤い囲みで、確認する部分を青い囲みで記載します。

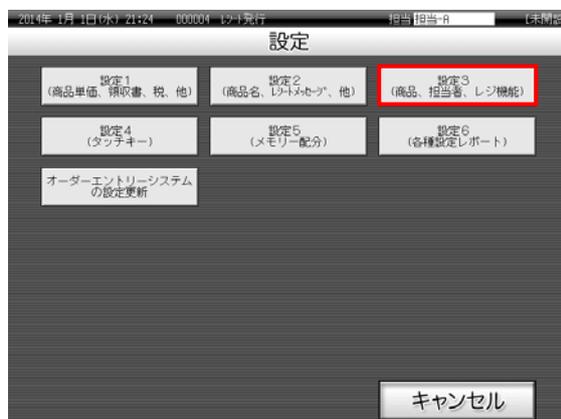
- ① トップメニューで <設定> キーをタッチします。



- ② 設定権限のある担当者でサインインします。
(例として 担当者-A でサインインします)



- ③ <設定 3> キーをタッチします。



④ 「4. レジ機能の設定」をタッチします。



⑤ 「1. 全体設定」をタッチします。



⑥ 右図の通りの表示となります。<次> をタッチして、左上の表示を下へスクロールします。



⑦ 「27. (2722)領収書」をタッチします。



⑧ テンキー(黄色の破線部)で
 <5> <0> <0> <0> <0>
 とタッチし、「収入印紙必要額」部をタッチ
 します。



⑨ 「収入印紙必要額」部に 50,000 と表示
 されていること確認し、<決定> キーを
 タッチします。



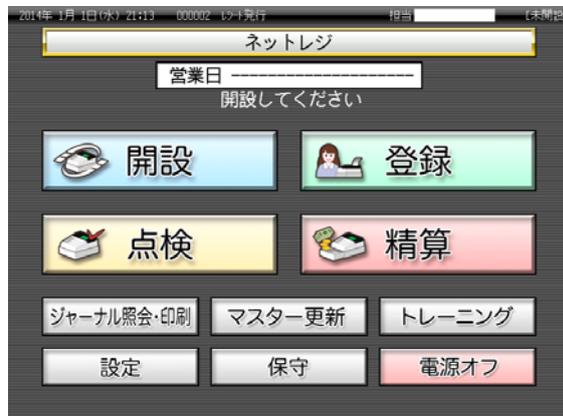
- ⑩ 右図の通りの表示となります。
 <戻る> キーをタッチします。



- ⑪ 右図の通りの表示となります。
 <トップメニュー> キーをタッチします。



- ⑫ トップメニューに戻ります。



以上の設定で、課税対象額 50,000円 以上の領収書には、自動的に収入印紙貼付け枠の印字がされるようになります。

<h1>領 収 書</h1>	
2014年 1月 9日(木)	領収No 000004 一連No 000012
<h2>様</h2>	
<h3>¥ 5 2 , 5 0 0 -</h3>	
税抜金額	¥50,000-
消費税等	¥2,500-
「 」	
(但し、 として正に領収致しました)	印 「 」
...	
「 」	
収入 印紙	
「 」	
◇印刷面を内側に折って保管してください◇	

QT-6000 税率変更手順

消費税の税率を5%から8%へ変更する操作を説明します。

タッチする部分を赤い囲みで、確認する部分を青い囲みで記載します。

《操作手順》

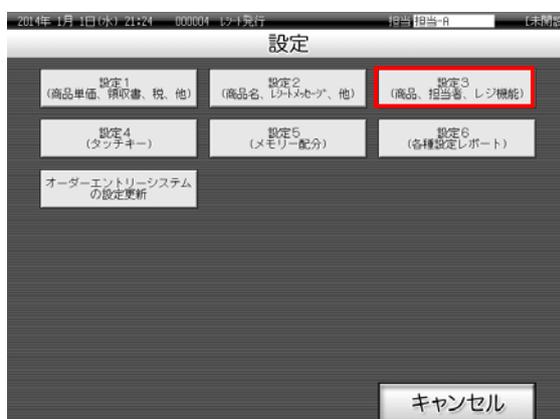
- ① トップメニューで <設定> キーをタッチします。



- ② 設定権限のある担当でサインインします。
(例として 担当者-A でサインインします)



- ③ <設定 3> キーをタッチします。



④ 「4. レジ機能の設定」をタッチします。



⑤ 「2. 税率テーブル」をタッチします。



⑥ 右図の通り税率テーブルの設定詳細が表示されます。



税率テーブルには4本のテーブルがあり、初期状態では各テーブルが以下の通り設定されています。

No.	税テーブル	税タイプ	税率
1	税テーブル # 1	内税	5%
2	税テーブル # 2	外税	5%
3	税テーブル # 3	内税	0%
4	税テーブル # 4	外税	0%

- ⑦ まず税テーブル # 1 の税率を8%に設定します。

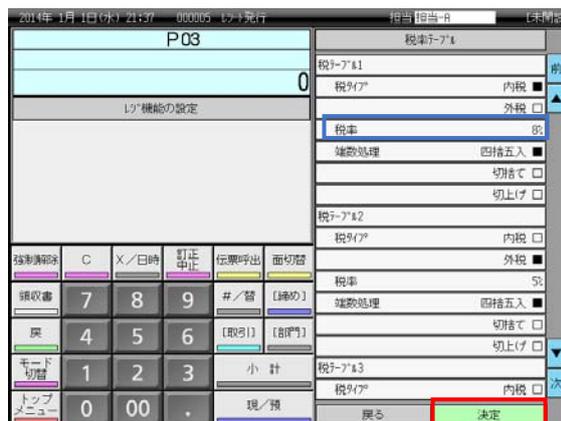
テンキー(黄色破線の囲み部)で <8> と設定する税率をタッチし、
税テーブル # 1 の税率表示部をタッチします。



- ⑧ 税テーブル # 1 の税率が8%になっていることを確認します。

同様の手順で、税テーブル # 2 ~
税テーブル # 4 までの税率を8%に設定
します。

設定が終了したら、<決定> キーを
タッチします。



- ⑨ 右図の画面に戻るので、
 <トップメニュー> キーをタッチします。



- ⑩ トップメニューに戻ります。

